

平成30年度 議会報告会
委員会報告 質疑応答概要

平成30年11月3日(土) 開催

質問項目	要 旨	
大学誘致	Q	大学に対して事業費約125億円を支出しているとのことだが、その分の経済波及効果は。
	A	校舎等の建設事業や、学生のまちづくり形成の観点での経済波及効果があると思われる。
ごみ	Q	今の清掃工場ができた時に、「これまで分別してたものもこれからは燃えるごみとして出していい」と、市の職員に指導された。それまでの分別の意識がなくなってしまう。結果、ごみの量が増えている。まず職員から意識を変えるべきと思うが、そのためにはどうしたらいいか。
	A	リサイクル製品の取扱品目の増加やリサイクル内容と意識啓発について、既に担当部に対して意見を伝えており、今後、経済環境常任委員会として、提言をしたいと考えている。
	Q	ごみ分別アプリ「さんあーる」を初めて知った。市民に周知されないと思う。広報について、どのように考えるか。
A	若い世代に向けて、インターネットを活用した周知方法なども、担当部へ伝えていきたい。	
卸売市場	Q	現在の市場の跡地の利用は。
	A	未定と報告を受けている。
	Q	移転する事業者への支援策は。
A	支援策については、9月定例会で具体的に提案があったところで、今後、事業者が円滑に移転できるように、特別委員会で質疑等を行い、働きかけていきたい。	
成田空港	Q	成田国際空港の夜間飛行制限の緩和により、睡眠時間がなくなる。議会は住民の代弁者なので、住民の意見を市長に伝えて欲しい。
	A	全ての住民との合意が理想だが、最終的には、四者協議会で住民合意という形となった。議会としては、環境問題を中心に議論してきた。
議会	Q	前年度の決算等についてしっかりチェックしているのか。
	A	将来負担比率や実質公債費比率等、様々な指標等に基づき、決算特別委員会等で多くの質疑を行い、チェックしている。